

動画配信  
5

## 人口減少が続く中山間地の移住者増加策の検討 ～ オクシズ梅ヶ島地区の移住モデルプランの作成と実践 ～

事業担当者

経営学部経営学科 准教授 山田雅敏（代表）、講師 酒井春花、助教 堀江優希  
参加学生 経営学部経営学科 西貝瑞稀、佐野由奈、加藤遥、久保田希禪（4名）

目的・概要

人口減少と少子高齢化が大きな課題となる静岡市の中山間地域のオクシズでは、人材不足による地区存続が危ぶまれる問題も発生している。そこで本研究では、オクシズ移住者を増加させるために、梅ヶ島地区の魅力を発掘・再発見することを試みた。方法として、静岡市葵区役所地域総務課と常葉大学経営学部による官学連携により、梅ヶ島地区に関する情報を収集し、「葵区オクシズお試し住宅」を活用した移住体験モデルプランを作成・実践した。

事業成果

本学経営学部生が検討・作成した梅ヶ島地区の移住体験モデルプランを実際に現地で実践し、奥静岡を紹介する情報媒体「オクシズマガジン」に掲載された（3月発刊）。また、同地区で開催された「梅ヶ島まつり」のボランティアに参加し、コースター作りのサポートを行い地域住民との交流を図った。さらに波及効果として、移住研究を行う群馬県立大間々高等学校から依頼により、本活動に関するプレゼンとスタディツアーの現地調査の帯同を行った。以上の活動により、オクシズの認知度向上、および同地区の交流人口増加の課題解決に一定程度の効果があったと推察される。



地域総務課の方々との打ち合わせ



作成した移住モデルプランの実践



「オクシズマガジン」に掲載（3月発刊）



梅ヶ島まつりにボランティア参加



大間々高校のスタディツアー受入

※【再掲】本要旨は、令和5年度しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業成果報告会（静岡市）の最終報告書ならびに報告会資料に記載した内容を一部含みます。